

# Full-Drive3 User Manual



## 各コントロールについて

<b>VOLUME</b>	音量を調節します。
<b>TOPE</b>	このノブはペダルの OD 側にのみ影響します。反時計回りに回すとトレブルが下がり、時計回りに回すとトレブルが上がります。ニュートラルは、ほとんどのアンプで 12 時付近になります。
<b>OVERDRIVE</b>	ペダルの OD 側にのみ影響します。時計回りに回すに回すと歪みのレベルが上がります。
<b>BOOST</b>	BOOST チャンネルのブースト量を調節します。
<b>DYNAMICS</b>	BOOST が ON の時のみ機能します。時計回りに回すと、ゲルマニウム・ダイオードのリミッター回路が働き始めます。ピッキングニュアンスの好みに応じて設定してください。 警告！このノブを回しすぎると、スタジオのリミッター/コンプレッサーと同じように、音量が下がります。理想的な設定方法はまず DYNAMIC ノブを好みのフィーリングに設定し、次に BOOST ノブを好みの音量に調節してください。
<b>DRIVE2 Volume</b>	Drive2 がオンときのみ機能し、Master Volume の設定値よりも高い音量を出すことができますが、Master Volume の設定値よりも低い音量を出すことはできません。
<b>CLIPPING switch</b>	このトグルスイッチはペダルの OD 側にのみ影響し、ディストーションのクリッピング特性を変更することができます。  90's: ペダルのクリッピングは左右対称になり、オールド TS や 1990 年代の FD2 のようにミッドレンジが強めになります。  WIDE ASYM (wide asymmetrical): 低域と高域の周波数がより強調され、より均等なハーモニクスが得られます。サウンド的には、よりキメの細かい A 級チューブ・タイプのサウンドになります。  CC :COMP-CUT 機能を実行します。このモードでは、JFET オペアンプからダイオードのクリッピング部分がキャンセルされます。ややクリーンなブースト・サウンド、または高めの OD セッティングではアグレッシブなオペアンプ・クリッピング・サウンドが得られます。

## ORDER switch

このスイッチは、ペダルの両側を ON にした場合のみ有効で、BOOST 回路がペダルの OD 側の前に来るか後に来るかを選択できます。オーバードライブは、クリーン・ブースターを前にした場合と、クリーン・ブースターを後にした場合では、サウンドが全く異なります。

OD-->BOOST : (ペダルの OD 側を ON にした状態で) BOOST を ON にすると、歪みを増やすことなく、今あるサウンドを単純に大きくします。

BOOST-->OD : (ペダルの OD 側を ON にした状態で) BOOST を ON にすると、OD 側の INPUT にルーティングされ、BOOST を時計回りにあげていけば歪みが増し音量にも影響します。

## ON/OFF Footswitch

オン / オフを切り替えるスイッチです。

## BOOST Footswitch

ペダルの右側にある BOOST を ON/OFF するスイッチです。

## 電源について

### DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス電源 で動作します。

### BATTERY

9 ボルト電池でも動作可能です。

電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

## 入出力について

---

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

## Full-Drive3 について

---

FD2 は 1993 年に発売されて以来、絶大なヒットを記録しましたが、常にそれを発展させて究極のオーバードライブ・ブースト・ペダルを作りたいと思っており、それを形にしたのが Full-Drive3 です。見た目は FD2 と似ていますが、FD3 はより進化したナチュラルなサウンドで、クリーンから歪みまで幅広いトーンを提供します。兄弟機種とは異なり、FD3 は JFET インプットと JFET オペアンプの両方を使用しており、チューブレスペダルから得られる最もチューブライクなサウンドを実現しました。また、この JFET は FD3 に超高入力インピーダンスを与え、これによりペダルはどんなタイプ/ゲインのピックアップにも適合し、ギターのボリューム・コントロールの変化にも非常に良く反応します。

ペダルの 3 ウェイ CLIPPING トグルスイッチを 90's に設定すると、おなじみの 1990's FD2 のスムーズで対称的なクリッピングと、十分なミッドレンジが得られます。

スイッチを WIDE ASYM に設定すると、より甘い高域と低域が、キメの細かい A 級スタイルの倍音と共に現れます。

最後に COMP-CUT モードがあり、ダイオードのクリッピングをアシストすることなく、純粋なオペアンプ・オーバードライブのアグレッシブなブーストを奏でます。

FD2 の BOOST モードは単に歪みを増加させるだけでしたが、FD3 は OVERDRIVE チャンネルと BOOST チャンネルが完全に独立しており、ORDER トグルスイッチで BOOST チャンネルを OVERDRIVE チャンネルの前後どちらにも配置できます。

また、BOOST チャンネルは非常にトランスペアレントでハイ・ヘッドルームな 100% JFET パワー回路で、(シリアル #2548 以降) トゥルー・バイパスの代わりにバッファード・バイパスに変更されているため、FD3 は ON/OFF に関わらずアンプのハイ・サウンドと " フィール " を維持します。BOOST チャンネルの DYNAMICS ノブ (Fulltone 独自のゲルマニウム・ダイオード・リミッター回路) を上げると、演奏される音の感触が変化し、アンプの入力をオーバーロードさせるトランジェント・スパイクが抑えられます。例えるならとてもスマートなコンプレッサーのようなものです。この機能により、硬いアンプでもレスポンスが良くジューシーに感じられ、高音域が甘くなります。

ヒント: FD3 を Fulltone FPS-3 のような高品質な (レギュレーテッド) 18V DC 電源と組み合わせると、ヘッドルームの広い、さらにビツグなサウンドが得られます。